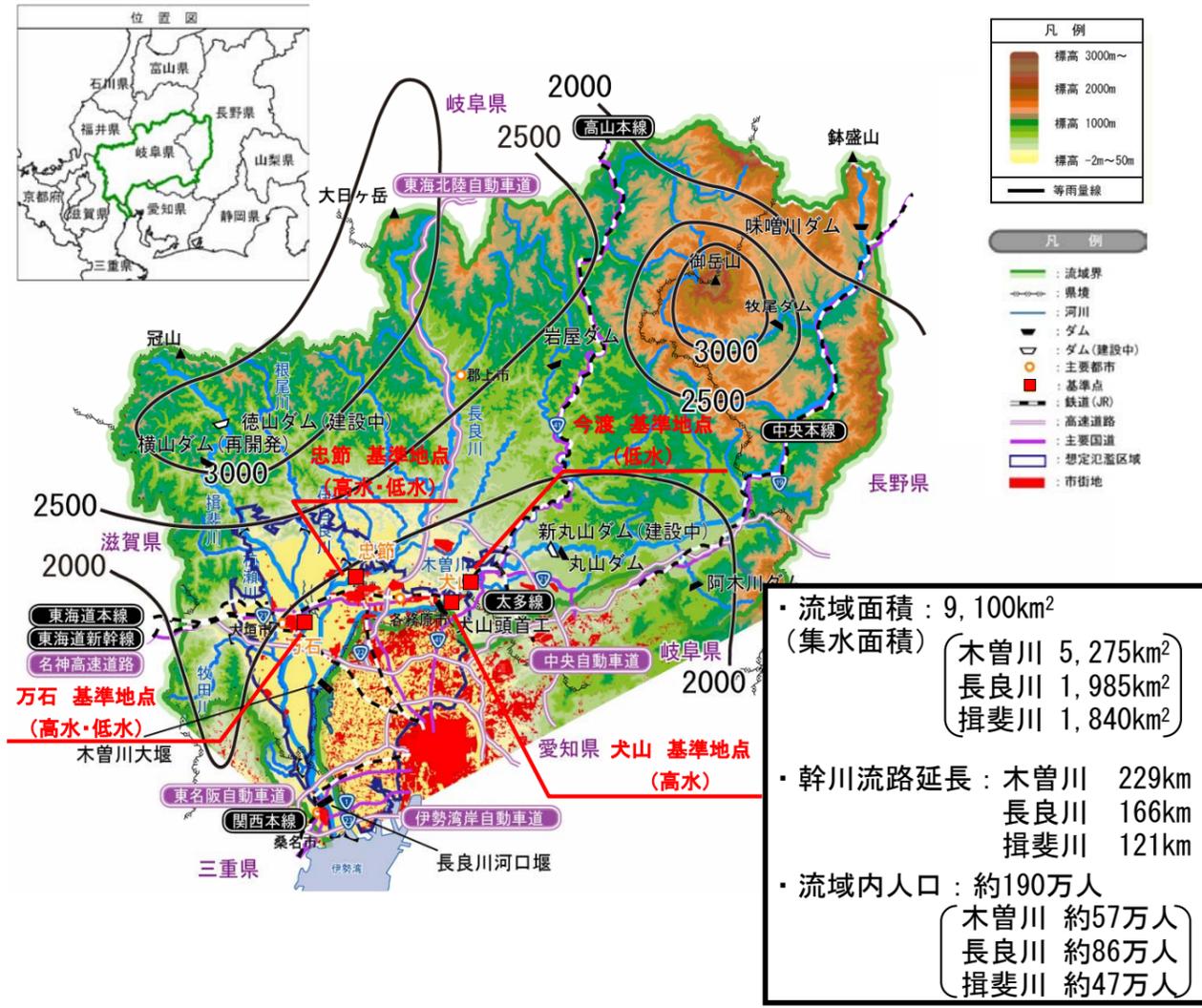


木曾川水系河川整備基本方針の概要①

流域及び河川の概要

- 流域年平均降水量約2,500mmであり、全国平均約1,700mmの約1.5倍
- 中京圏の産業・人口・資産が集積する濃尾平野を貫流
- 下流部は、我が国最大のゼロメートル地帯であり洪水氾濫した場合には甚大な被害が発生



災害の発生防止又は軽減

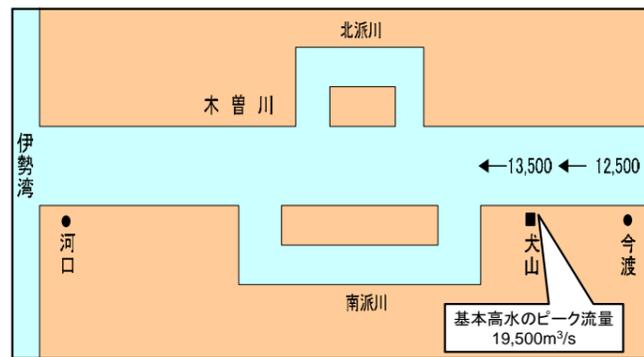
- 木曾川においては、昭和58年9月に既定計画を上回る洪水が発生しているため、既定計画を見直し。全国バランスを踏まえ想定される被害や地域の社会的経済的重要性などを考慮し、計画規模を1/200とする。流量データによる確率からの検討、日雨量(2日)データによる検討、既往洪水からの検討、木曾川で対応できる流量等を総合的に検討し、犬山地点で基本高水のピーク流量を19,500m³/sと設定。
- 長良川においては、平成16年10月に既定計画を上回る洪水が発生しているため、既定計画を見直し。地域社会の形成とバランスのとれた計画規模として1/100とする。流量データによる確率からの検討、時間雨量データ(12時間)による検討、既往洪水の検討、長良川で対応できる流量等を総合的に検討し、忠節地点で基本高水のピーク流量を8,900m³/sと設定
- 揖斐川においては、既定計画を上回る出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、既往洪水からの検討等を総合的に検討し、基本方針においても既定計画と同様に万石地点にて基本高水ピーク流量を6,300m³/sと設定

- 木曾川水系は、地域にあった治水対策を講じつつ、水系全体としてバランス良く治水安全度を向上させる
- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、以下により対応
 - ・木曾川は、既存施設の有効活用及び洪水調節施設の整備により対応
 - ・長良川については、既存施設の有効活用及び遊水機能を活かした洪水調節施設等により対応
 - ・揖斐川については、既設洪水調節施設の治水機能向上及び洪水調節施設の整備により対応



昭和58年9月洪水
(美濃加茂市街の浸水状況)

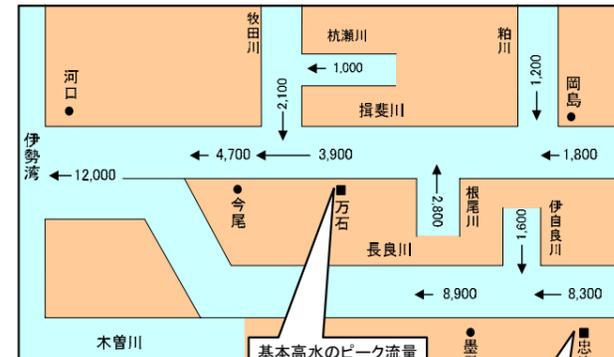
【木曾川流量配分図】



※犬山上流の計画規模は1/100

- ：基準地点
- ：主要地点

【長良川・揖斐川流量配分図】



単位：(m³/s)

- 河川堤防や高規格道路等をネットワーク化し、復旧資材の運搬路や避難路を確保する広域防災ネットワークの構築に向けて、関係機関と連携・調整しながら取り組む
- 堤防の詳細な点検等を実施し、堤防の質的強化を図り、安全性を確保する。
- 計画規模を上回る洪水や整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合等にも被害軽減を図るため、関係機関を調整しつつ輪中堤等の活用を図る。

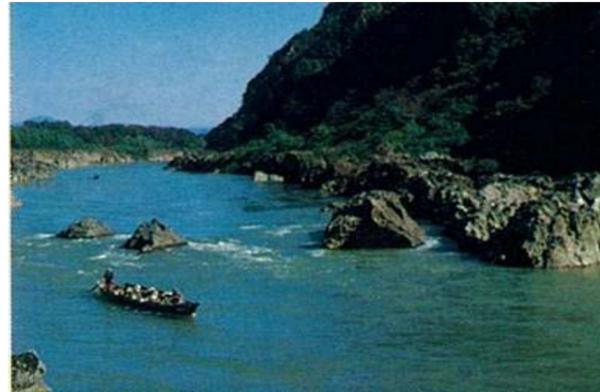


昭和51年9月洪水
(安八町の浸水状況)

木曾川水系河川整備基本方針の概要②

河川環境の整備と保全

■木曾川の上流域においては、奇岩が並ぶ渓谷美あふれる自然環境の保全に努める。中・下流域においては、カワラサイコ等の生育地となる砂礫河原の保全・再生、イタセンパラ等の生息地となるワンド、多種のトンボが生息するトンボ池の保全に努める。



日本ライン、名勝木曾川
(木曾川57～70k付近)



イタセンパラ



中流域の砂礫河原(41k付近)



トンボ池(北派川0.8k付近)

■長良川の中・下流域においては、鵜飼いが営まれる水域環境の保全に努めるとともに、アユ等が生息する瀬や淵、コアジサシ等の繁殖地となる砂礫河原、洪水時の魚類の避難場等になっているワンド等の保全・再生に努める。



鵜飼
(長良川53～57k付近)



砂礫河原(長良川43k付近)



中流域の瀬(45k付近)

■揖斐川の中流域及び根尾川においては、関係機関と調整を図り、床固や堰の魚道の設置・改良により、魚のすみやすい川づくりを推進するとともに、アユ等が生息する瀬や淵、カワラハハコ等の生育地となる砂礫河原の保全・再生に努める。牧田川を含めた中流域においてはハリヨ等の生息する湧水を支える環境の保全・再生に努める。



揖斐川第7床固魚道
(揖斐川47k付近)



草地化している砂礫河原
(9.8k付近右岸)



ハリヨ

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

■水資源開発を行うとともに、既存施設の有効利用及び関係機関と連携した水利用の合理化を促進すること等により、必要な流量の確保に努める。

■木曾川今渡地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、かんがい期では概ね150 m³/s、非かんがい期では概ね80 m³/sとし、以て流水の適正な管理、河川環境の保全、円滑な水利使用等に資するものとする。

■長良川忠節地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、通年で概ね26 m³/sとし、以て流水の適正な管理、河川環境の保全、円滑な水利使用等に資するものとする。

■揖斐川万石地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、通年で概ね30 m³/sとし、以て流水の適正な管理、河川環境の保全、円滑な水利使用等に資するものとする。

■木曾三川の河口域においては、干潟やヨシ原等の保全・再生に努める。



河口域の干潟
(揖斐川右岸1.8k付近)

■特徴的な河川景観の保全に努めるとともに、犬山城を背景とする川並み、御園堤の桜並木、金華山を背景とする川並み、背割堤の松並木やケレップ水制群等の歴史ある河川景観の保全に努める。



名勝木曾川堤(桜)
[御園堤の桜]南派川1～4k付近



千本松原
(岐阜県海津市)